

新秋田県DX推進計画（素案）について【概要版】

デジタル政策推進課

策定の趣旨等

デジタル化・DX（デジタルシフト）を、本県が人口減少に対応しつつ発展していく上で不可欠な推進力と位置づけ、本県の情報化施策や各分野のデジタル人材の育成策等の方向性を示す。

現状と課題

【秋田県の現状】

- 全国のすう勢を上回る人口減少と少子高齢化
- 県民総生産の伸び悩み
- 労働力が減少し、人手不足がひっ迫
- 人口密度が希薄な地域の広がり
- 自然災害が激甚化・頻発化
- 有害鳥獣が生活圏に日常的に出没

【デジタル社会をめぐる最近の情勢】

- 生成AIやAIエージェントなど新技術の浸透と電力需要の更なる高まり
- 全国的に官民を問わず、デジタル人材が不足
- 自治体システムの標準化が進展
- 将来のデータ連携社会を見据えたオープンデータ化の方向

【なぜ本県にデジタルシフトが必要か】

- くらし：様々な生活サービスにおいて、デジタル技術の活用により利便性や持続性の向上が必要
- 産業：デジタル技術の導入により、生産性の向上や業務の効率化、新ビジネスの創出、本県の将来を支える産業構成への転換など、競争力を強化する必要
- 行政：県や市町村の職員が減少する中でも、行政サービスの維持・向上ニーズに対応していく必要

次期計画の目標

一人ひとりのニーズが満たされそれぞれが「豊かさ」を感じられる社会の実現

取組の分野



持続する”地域のくらし”を支える



”産業の伸びしろ”を生み出す



”未来の基盤”をつくる

取組の分野の方向性

持続する”地域のくらし”を支える

担い手の減少や人口密度の希薄化の中にあっても、生活の質を維持し向上させるため、デジタル技術を積極的に活用して、サービスやインフラなどのあり方を、効率的で持続する形に最適化することを目指します。

”産業の伸びしろ”を生み出す

データ駆動型社会を見据え、IoTやAIが蓄積する多様なデータを活用する等により、生産システムの最適化や高付加価値型産業の創出を目指します。

”未来の基盤”をつくる

デジタル人材の育成や教育へのデジタル技術活用を進めるほか、行政運営の革新、高度な情報通信インフラの整備を目指します。また、様々な主体による共創の機会創出を目指します。



持続する”地域の暮らし”を支える

- 全国のすう勢を上回る人口減少と少子高齢化が進む本県において、これまでと同様のやり方では、生活に不可欠な各種の公共サービスやインフラの維持が困難になります。
- 本分野では、担い手の減少や人口密度の希薄化を前提としつつも、生活の質の維持・向上を図るため、デジタル技術を積極的に活用することにより、サービスやインフラなどのあり方を効率的で持続する形に最適化することを目指します。
- こうしたスマートな地域社会の構築と、一人ひとりがデジタル技術が普及した社会の恩恵をそれぞれの状況に応じて受けられ安心・快適に暮らし続けられる、デジタル技術の活用による包摂性の高い地域社会（デジタルインクルージョン）の実現を目指します。

コンセプト / キーフレーズ

スマートな地域社会

スマート自治体

オンライン診療

MaaS
(Mobility as a Service)

インフラのモバイル化
(WOTA、非地上系ネットワーク)

デジタルインクルージョン

デジタルデバイド対策

SNS詐欺等の防犯

シームレスな接続環境の整備

ユニバーサルデザイン



”産業の伸びしろ”
を生み出す

- 労働力の減少や、県民総生産の伸び悩みが深刻化している本県においては、経済を持続的に発展させるため、既存産業の生産性向上はもちろん、デジタル技術が普及した社会を前提とする事業の高付加価値化やICT産業の振興が不可欠です。
- 本分野では、データ駆動型社会の到来に向け、AIoT(AI of Things)の考え方に基づきIoTやAIが蓄積する多様なデータの活用などにより、生産システムをはじめ経営資源の効率化・最適化や、高付加価値型ビジネスの創出を目指します。
- これらを核にして、労働力不足を解消するほかデジタル時代の産業構造への転換を進め、産業の大きな「伸びしろ」を生み出すことを目指します。

コンセプト / キーフレーズ

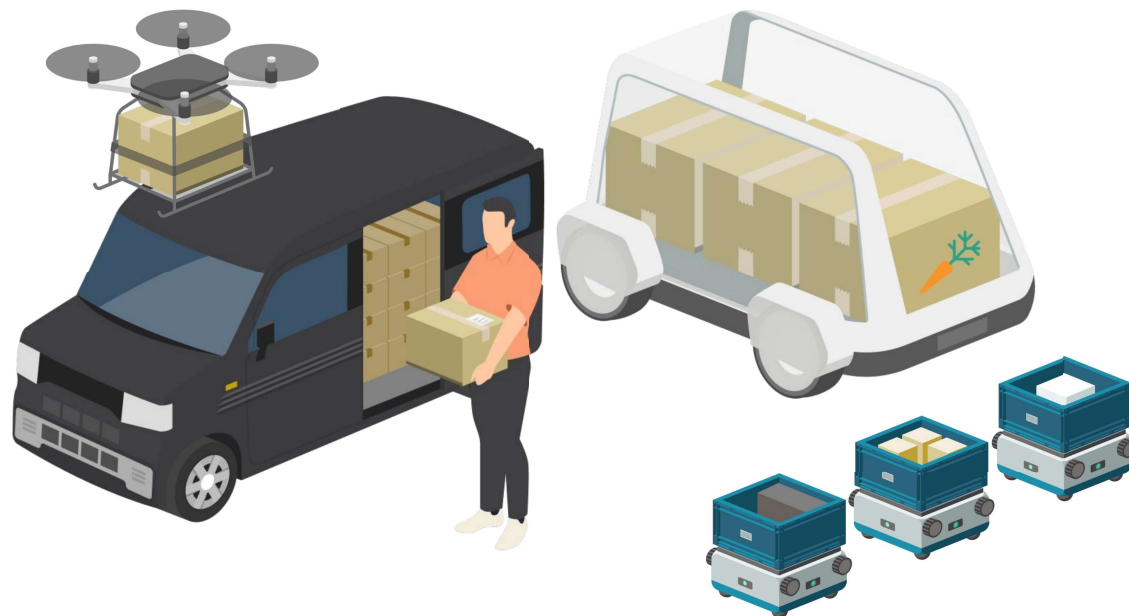
AIoT (AI of Things)

産業DX

ICT産業の振興

スマート農林水産業

建設DX





”未来の基盤”
をつくる

- デジタル人材の不足、インフラの未整備、旧来の慣習が県全体のデジタルシフトの支障となっています。
- 本分野では、人や社会のデジタルシフトにつながるよう「行政、民間、県民など全ての主体がデジタルを前提とした新しい働き方や生活様式を積極的に受け入れる意識」に変容する基盤をつくれます。
- そのため、デジタル人材育成のほか、教育現場でデジタル技術を活用し、ひとづくりを進めます。また、県・市町村が連携して行政運営を革新するほか、AI時代に必要なデータ利活用や本県の地理的優位性を生かしたデータセンター誘致など高度な情報通信基盤の整備を図ります。

コンセプト / キーフレーズ

ひとづくり / 社会変容

デジタル人材育成

リカレント教育

デジタルファースト
(行動変容・意識醸成)

県・市町村行政の連携

人材シェアリング

リソース共同化

連携体制の確立・深化

基盤整備

ブロードリスニング

データセンター誘致
(ワット・ビット連携)

Beyond 5G / 6G

施策



持続する”地域の
暮らし”を支える

①生活インフラのデジタルシフト

- ・地域公共交通に係るオープンデータやデジタル技術の利活用等への支援
- ・オンライン診療等による遠隔医療、在宅医療の普及

②スポーツ・文化へのデジタル技術活用

- ・スポーツに関する情報を集約したウェブサイトの充実
- ・本県ならではの魅力ある文化の動画配信

③安全・安心へのデジタル技術活用

- ・デジタル技術を活用した住家被害認定調査研修の実施
- ・ドローンを活用した効果的なクマの探索等
- ・人とクマとの棲み分けに向けた出没抑制対策の推進

④県・市町村のサービスの利便性向上

- ・県の行政手続きに係るオンライン化の推進
- ・県による伴走支援等により、市町村が行う窓口サービス改革など、住民サービスの利便性を高める取組を支援



”産業の伸びしろ”
を生み出す

①産業の生産性向上と競争力強化

- ・IoT等のデジタル技術の導入による生産性向上の取組への支援
- ・デジタルツール等の導入から運用サポート、成果の可視化までの一連のデジタル化導入・定着を支援

②農林水産業のデジタルシフト

- ・スマート農機等の導入促進
- ・農林水産系公設試験研究機関におけるスマート技術関連の試験研究
- ・ICTを活用した森林調査・測量・原木生産管理の効率化

③建設産業のデジタルシフト

- ・道路DXによる業務の効率化・高度化
- ・河川施設・台帳の一元管理、官民共通プラットフォームによる河川維持管理の効率化・高度化



”未来の基盤”
をつくる

①産業分野におけるデジタル人材育成

- ・県内ICT企業の人材確保・育成への支援
- ・秋田技術専門学校においてIT人材を育成
- ・産業技術センターにおいて、AIを開発するプログラミング研修を実施

②若年層におけるデジタル人材育成

- ・中高生・大学生を対象としたDX研修の実施
- ・中高生を中心としたプログラミング体験や課題解決に向けたワークショップ等体験機会の提供
- ・専門高校の教員等を対象とした最先端技術等に関する指導力向上研修会の実施

③行政運営のデジタルシフト

- ・CIO補佐官やプロジェクト伴走人材の派遣
- ・研修等を通じた人材の育成
- ・ツールの共同化に向けた検討
- ・生成AI等先端技術の活用による庁内業務の効率化、高度化

④2040年へのセットアップ

- ・共創に取り組む場の創出、共創プロジェクトの立ち上げ支援
- ・庁内データ連携のための基盤整備と外部公開に向けた調査